

フルHDデュアルモード
屋外用カラーIR照明付ドームカメラ

取扱説明書



VJ-FH10IR
220万画素フルHDデュアルモード 屋外用IRドームカメラ

この度は、弊社のHD監視カメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

JVS 日本映像システム株式会社
〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町2-6-3 シティーハーズ・長者町ビル
TEL : 045-250-3822 URL : http://www.jvs.co.jp

ver1.0

型名 VJ-FH10IR		
お客様	お名前 (会社名)	ふりがな 様
	ご住所	〒
	お電話	
保証期間	本体 2年	お買上げ日 年 月 日から
販売店	住所・会社名 電話	
<small>本書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。 保証期間中に事故が発生した時には、本書と商品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 ※本書は再発行致しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。</small>		

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷。
 - 各部の点検または定期保守に該当する費用。
 - 車両、船舶等に備品として搭載した特殊使用の場合に生じる故障及び損傷。
 - 本製品以外に故障原因がある場合、または改造を要する場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、または字句が書換えられた場合。
- 修理は、すべて返品修理として実施いたします。出張修理等は別途費用が発生いたします。
- 修理のために取外した部品は、特にお申し出が無い場合は、弊社にて引き取らせて頂きます。
- 保証修理は製品本体のみにつき実施するもので、機器の故障による他の賠償等の責は負いません。
- 本書は日本国内のみについて有効です。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をお読みください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や、他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	誤った取扱いをしたときに、人が死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きい内容			
	注意	誤った取扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。			
	絶対にしないで下さい。		警告・注意		必ず従って下さい。

警 告	
	発火や引火の可能性のある場所に設置しないで下さい。ガスなどの充満した場所に設置すると、火災の原因となります。
	カメラの分解、改造は絶対に行わないで下さい。発熱して火災の原因となることがあります。
	濡れた手でカメラを触らないで下さい。感電の原因となることがあります。
	取り付けや調整の際に埃や湿気が多い場所、雨や雪が直接当たるところではしないで下さい。火災や感電の原因となります。
	機器内部に水が入ったりしないようご注意ください。火災、感電の原因となります。
	雷が鳴り出したら、同軸ケーブルや電源コネクタ等には触れないで下さい。感電の原因となります。
注 意	
	本機を他の機器と接続する場合には、接続する機器の取扱説明書をお読みになり悪影響が無いことを確認してください。
	周囲の温度が50℃以上、または-10℃以下の場所では使用しないで下さい。画質の低下や故障の原因となります。
	指定された電源以外では、使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。 (電源重畳の場合はPB-104EまたはPB-109E、電源別送の場合はDC12Vをお使いください)

<カメラ仕様>

Model No.	VJ-FH10IR
TV 信号方式	NTSC 準拠 / 専用 1080P 方式切換え
撮像素子	1/2.9"カラー220万画素 CMOS イメージセンサー
有効画素数	220万画素 1984(H) × 1105(V)
映像出力	NTSC モード : VBS 1.0Vp-p 16:9 1080P モード : 1920(H) × 1080(V)
水平解像度	NTSC モード : 880 TV 本相当 (水平中心部)
最低被写体照度	カラー-2.5 lx (F1.3) 、 IR 0 lx
S/N 比	50dB 以上 (AGC OFF)
レンズ	DC オートアイリス f=3.3-10mm、F1.3 H84~45° V : 35~20°
フリッカーレス	ON / OFF OSD により選択
逆光補正	ON / OFF / HSBLC OSD により選択
Day & Night	IR 照明付 ICR デイ&ナイト (IR OFF は、出荷時設定)
ホワイトバランス	ATW / AWB / PUSH / MANUAL OSD により選択
その他の機能	プライバシーマスク / D-WDR / DNR 他
同期方式	内部同期
IR 照明	近赤外線 LED、照射距離 約 10m
電源電圧 / 消費電力	デュアルモード方式 (電源重畳モード・DC12V 電源モード 自動選択) / max.3.4W
動作温度・湿度	-10℃ ~ +50℃ 80%以下 非結露
外形寸法 / 重量	外形 φ143mm × 107mm (高さ) / 約 410g

※1080Pモードを使用するには、専用DVR JV-AHシリーズが必要です。

<カメラの設置>

設置用ねじ、3本を使用して取付けてください。

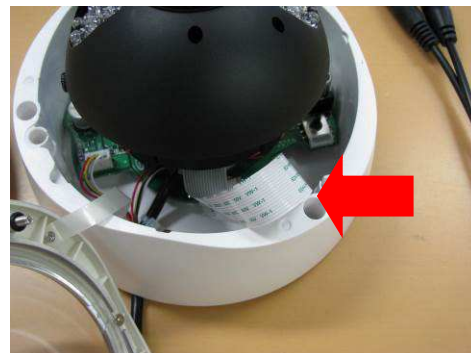
カメラの回転は半回転以内で調整してください。(写真①)
 ・予めカメラを向ける方向に、レンズを向けて設置してください。カメラにはプリントケーブルが使用されている為に回転調整は、半回転以内で調整してください。半回転以上回転させた場合は、逆方向に回転しプリントケーブルのねじれを戻してください。

・設置後、カメラの設定、レンズの調整等を行います。レンズカバー付ける場合は、レンズのロックビスを締めて固定した後にカメラの角度を変えてカバーを取り付けてください。取付後再度カメラの方向を調整してください
 方向が決まった後に、俯仰各固定つまみを回して固定して下さい。

・最後にドームカバーを取り付けます。ドームカバー側にはガイドのポッチが出ています。ドームベースのガイド穴にポッチを合わせてカバーを取り付けた後に、付属のカバーネジ用レンチで、3箇所をねじが均等に締まるように、交互に締めつけてください。また、カメラ設置穴には、ねじを入れないでください。(写真②)
 防止バックインがありますので、位置を合わせた後に、ねじをゆっくりと締めこんでください。また、プリントケーブル (写真①) を挟み込まないように注意して下さい。ドームカバー固定用の3本のねじをバランスよく固定して設置完了です。

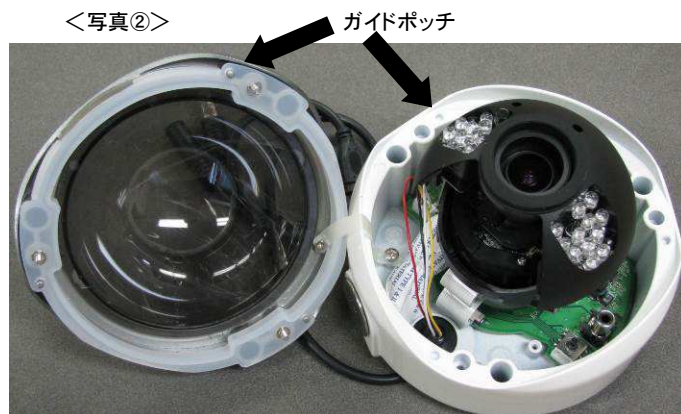
注意：設置の際にカメラ内部の配線やプリントケーブルの引掛かりには充分注意をして行ってください。カメラ回転時に配線が内部で引掛かることがあります。
 ドームカバー締め込み時に、プリントケーブルを挟まないようにしてください。

<写真①>



プリントケーブルに注意して設置して下さい。

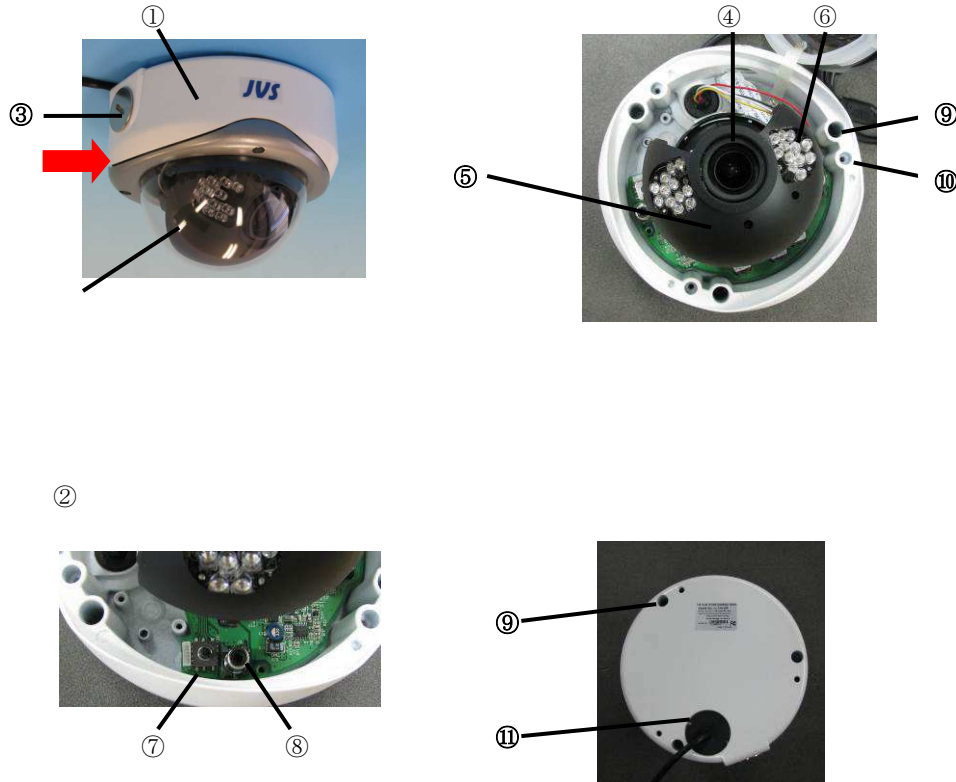
<写真②>



<機器構成>

- (1) ドームカメラ本体 1
- (2) 設置用ねじ 3
- (3) レンズカバー 1
- (4) レンズカバー取付けねじ 2
- (5) カバーネジ用レンチ 1
- (1) 取扱説明書 1

<各部の名称と説明>



- ① ドームベース：ドームカメラのベースです。
- ② ドームカバー：ドームカバーです。矢印の色が変わるところでベースから外れます。脱落防止紐でドームベースと繋がっています。
- ③ ケーブル取り出し口：横からケーブルを取り出す場合に使用します。
- ④ レンズ：DCオートアイリスのバリフォーカルレンズです。
- ⑤ インナーカバー：ドームカバー内部のインナーカバーです。
- ⑥ IR LED照明：IR LED照明です。左右で1対の照明が取り付けられています。
- ⑦ OSD SW：OSD操作SWです。⑧のRCA端子側が上になります。
- ⑧ モニターアウト端子：RCAのモニターアウト端子です。カメラのモードがNTSCモードの時は、NTSC信号が出力されますが、720Pモードの場合は、ご使用になれません。
- ⑨ カメラ設置用穴：天井や壁にカメラを設置する場合は、付属のねじと3箇所の穴を使用してカメラを設置いたします。
- ⑩ ドームカバー取付け穴：ドームカバーはこの穴で固定します。とりにガイド穴があります。ガイド穴とカバー側のガイドボツチを合わせてカバーを閉めてください。ドームカバー固定ネジは脱落防止で外れません。
- ⑪ ケーブル取り出し口：裏面ケーブル取り出し口（出荷状態は裏面です。）

⚠️ **ドームの回転は、半回転以内で設置してください。プリントケーブルが付いているので断線や外れの原因となります。予めカメラを向ける方向にレンズ側を向けて設置取付けを行い、回転調整は半回転以内で調整してください。**

⚠️ **LEDには、素手で触れないでください。油脂等によりLEDの寿命が短くなります。もしも、触れてしまった場合は、アルコール等で拭いてください。**

⚠️ **ドームカバーを閉めるときは、付属のカバーネジ用レンチを使用して、3本のねじを交互に、均等に締めてください。締付け強さが均等でない場合は、水漏れの原因になります。1本締めると、他のねじもさらに締まるようになります。均等に最後まで締めてください。**

- NR（ノイズリダクション）
- 2 DNR：2次元DNRをOFF / LOW / MID / HIGHから設定できます。
- 3 DNR：3次元DNRをOFF / LOW / MID / HIGHから設定できます。
- ※3 DNRは、1080Pモードのみご使用になれます。

SPECIAL（特別メニュー）

- CAM TITLE：アルファベット / 数字 入力画面にタイトルを挿入できます。
- D-EFFECT：FREEZE(静止画)、MIRROR(鏡像)、NEG.IMAGE(ネガポジ反転)が選択できます。
- MOTION：モーションディテクトの設定が出来ます。※信号出力はありません。
- PRIVACY：プライバシーマスクを設定できます。（4 エリア設定可能）
- LANGUAGE：LCDメニューの表示言語を設定できます。（日本語はありません。）
- DFECT：画素欠の補正を行うことができます。
- RS485：本機では、RS485通信はできません。

ADJUST（画像調整メニュー）

- SHARPNESS：画像のエッジ強調が調整できます。デフォルト：AUTO 数値5
※電源重畳で長距離延長接続した場合、若干画質が劣化します。そのような場合は、シャープネスの数値を大きくしてください。（最大10）
- MONITOR：LCDとCRTが選択できます。また、詳細の数値も設定できます。デフォルトLCD
※NTSCモードでのデフォルトはCRTとなります。
- LSC：レンズシェーディングの補正を行うことができます。
- VIDEO OUT：NTSCと表示されます。変更しないでください。
- MONITOR OUT：NTSCモードのみ表示されます。
- COMET：NTSCモードのみ表示されます。OFFのまま変更しないでください。

- EXIT（終了メニュー）設定完了後EXITに入って下さい。
- SAVE END：変更した設定を保存して終了します。
- NOT SAVE：変更した設定を保存しないで終了します。
- RESET：設定を工場出荷時に戻します。

- ① **バリフォーカルレンズの調整**
バリフォーカルレンズはズームを調整した場合、焦点がずれますので、必ずズームの変更後はフォーカスの調整を行ってください。
調整ツマミはロックねじとなっていますので、ねじを緩め調整して下さい。
調整ツマミはTELE(望遠)側とWIDE(広角)側を調整するツマミです。
• T-∞ツマミ：TELE(望遠)側と∞(無限遠)を調整するツマミです。
• N-∞ツマミ：NEAR(至近)側と∞(無限遠)を調整するツマミです。
設置の際、小型モニターを使用して、カメラのサービスビデオ端子から映像を見ながら調整が可能な便利な機能が付いています。（ケーブルは、別売りとなります。）

※カメラがNTSCモードのみ、モニターアウトから映像が出力されます。1080Pモードではご使用になれません。

- ② **電源重畳時のケーブルと配線距離**
本カメラは専用の電源ユニット PB-104E、または PB-109E と接続して使用することが可能です。その場合、カメラ配線のケーブル長とケーブルの種類により、以下のような制限や電源ユニット側のスイッチ設定が必要です。

ケーブル長	ご使用可能なケーブルの種類	電源ユニットのケーブル補償スイッチ設定
200m未満	3C-2V または 5C-2V	短
200~250m	5C-2V	短
250~500m	5C-2V	長

※出荷時設定は短側となります



PB-104E
ケーブル補償スイッチ



PB-109E
ケーブル補償スイッチ

※最大 5C-2V で 500m 接続により、カメラは動作いたしますが、画像の劣化が発生します。画質劣化を考慮した場合、ケーブル長 300m 以下でのご使用を推奨いたします。（5C-2V 使用時）

⚠️ **ケーブル長が 500m を超えた場合、または種類が適切でない場合、正常に動作いたしません。故障の原因となります。**

<カメラの設定>

カメラのモード切替（NTSCモード / 1080Pモード）

OSD SW を右に3秒間押し続ける：NTSCモード

OSD SW を左に3秒間押し続ける：1080Pモード（専用DVRとの組合せが必要）

- ① **OSDの操作**
 - OSD SWを押します。
 - メニューが表示されます。
 - SWを上下に押して設定項目を選択します。
 - 選択項目にリターン印がある項目は、SWを押すと次の画面に入れます。
 - 左右キーで数値や機能の選択、またはレベルを調整します。
 - 設定または調整後カーソルを下キーでEXIT(SAVE END)に移動し、センターキーで設定内容を保存できます。
 - Lens：DC（本機はDCアイリスレンズを搭載しています。変更しないでください。）
- **EXPOSURE（露出系）**
 - SHUTTER：デフォルト FLK、マニュアルシャッターが設定できます。
 - AGC：オートゲインの最大ゲイン量が調整できます。
 - SENS-UP：スローシャッター（長時間露光）が設定できます。
 - BRIGHTNESS：画面の明るさが調整できます。
 - D-WDR：デジタルワイドダイナミックモードが設定できます。
 - DEFOG：霧の軽減モードが設定できます。
- **BACK LIGHT（逆光補正）**
 - BLC：逆光補正が設定できます。
 - HSBLC：ハイライト(白系)に黒マスクをかける設定ができます。
- **WHITE BAL（ホワイトバランス）**
 - AWB：デフォルト推奨
 - ATW / AWC → SET(ワンプッシュ) / MANUAL / OUTDOOR / INDOOR から設定できます。
- **DAY & NIGHT：（デイナイト系）**
 - 本機のデフォルトはEXT(外部)です。変更しないでください。
 - 切り換えのディレイ時間やモノクロ時のバースト信号の有無が設定できます。

<デュアル電源方式に関して>

この機種では、電源重畳モードとDC12V電源モードの2種類方式を自動で選別し、駆動します。各電源モードの使用法・注意事項は下記のとおりです。

⚠️ **注意：本カメラでは、電源重畳モードが優先的に駆動します。DC12V電源モードと電源重畳モードの両方で駆動してしまった場合、電源重畳モードで駆動します。両方の電源モードを入力してしまうと、カメラが発熱し、発火や故障の原因になりますので、絶対に行わないで下さい。電源接続の際は必ず電源を切って作業を行ってください。故障や事故の原因となります。**

(ア) DC12V電源モード

DC12V電源を電源ジャック（F2）に入力しますとDC12V電源モードで駆動します。ビデオ信号は映像用BNCコネクタ(F1)から出力します。DC12V電源モード時はセンター+となります。

⚠️ **注意：DC電源の極性(+と-)を間違え接続すると、故障の原因となります。絶対に行わないでください。**

(イ) 電源重畳モード

カメラのBNCコネクタと専用電源ユニット背面パネルの”カメラ入力”のBNCコネクタを75Ω同軸ケーブルとBNC接栓を使用して接続してください。

⚠️ **本機の電源は必ず、弊社専用電源PB-104EまたはPB-109Eの電源ユニットをご使用ください。その他の電源のご使用は出来ません。カメラの故障または発火や火災の原因となります。**

⚠️ **本機と電源ユニットの接続ケーブルには、電源や映像信号が多重されており、ケーブル補償機、映像分配器等の機器をケーブルの途中に接続してご使用することは出来ません。**

⚠️ **本機と電源ユニット間の最大ケーブル長は、ご使用になる同軸ケーブルの種類により異なります。電源ユニットの取扱説明書に従ってください。**

⚠️ **注意：電源の誤配線、逆接続は感電や発火、または故障につながりますので必ず確**